

問 指定管理料に経済情勢の変化を適切に反映させる仕組みづくりについて伺う。

答 重要な課題の一つとして認識している。サービス向上に資する運営体制の構築について本市の実情に即した在り方を検討する。



害獣対策について

問 人の食物を覚えた熊の出没傾向は次の段階に移行した。獣道と思われる水路からの出沒対策として草刈り管理等はできないか。

答 本市所管の2河川において除草を実施済み。農業用水路の管理は交付金により活動組織の農地維持活動を支援している。

また、自治会等の自発的な除草活動など地域の実情に応じて水路が適切に管理されている。今後も国制度等の情報収集や可能な範囲

での草刈りを継続し、活動組織への支援とあわせた環境づくりに努める。

効率的な行財政運営（市町村合併や道州制）について

問 地方の視点から、合併・道州制議論について市の考えを伺う。

答 慎重な検討が必要であり、合併は現在考えていない。一方で行政運営では医療や教育等のほか各種協議会等によるさらなる広域連携の可能性を探る。近隣自治体との柔軟な連携を進め、市民のウェルビーイングを最優先とした効率的かつ持続可能な行財政運営に全力で取り組む。

質問した項目

- 害獣対策について
- 効率的な行財政運営（市町村合併や道州制）について
- 地元就職の推進について
- 指定管理の現状と公契約条例について
- リチウムイオン電池の回収について
- ほか



録画配信はこちらから

問 近年のスマートフォンや地図アプリの普及も踏まえ、災害の危険箇所や避難所情報を地図や画像でわかりやすく発信できないか。

答 位置情報や地図、画像を活用したわかりやすい情報発信を検討していく。



自転車交通安全と道路環境整備について

問 青切符制度開始の周知・啓発を今後どう進めていく考えか伺う。

答 鹿角警察署を中心に、チラシ配布や講話、交通安全教室等を展開し効果的な取り組みを進め、安全なまちづくりをしていく。

問 制度改正が先行し、道路環境整備が追いついていない状況はどう受け止め、考えているか伺う。

答 市道のうち自転車通行が禁止の歩道

は駅前中央線、谷地町上中島線、中野陣場線の3路線で国道や県道に關しても多くが歩道走行を認めている。地域の実情に応じ通行環境の整備に努める。

スクールバスと通学の安全について

問 鳥獣被害対策として、地域の実情に応じた停車位置等の柔軟な見直しをできないか。通学時における熊対策をどう考えているか伺う。

答 学校活動や通学にとつて大きな脅威であり、登下校については一義的には保護者の責任で行われるものだが、教育委員会でも様々な対策を講じている。安全第一に適宜必要な対策を実施する。



録画配信はこちらから

佐藤 大介 議員（鹿真会・公明）

質問時間 60分

湯瀬 弘充 議員（新時代かづの）

質問時間 30分

質問した項目

- 自転車交通安全と道路環境整備について
- スクールバスと通学の安全について
- 災害対策について